

令和6年度 学校経営方針

豊島区立千川中学校
校長 牧野崇

教育目標

明日をにやう人間性豊かな生徒を育成するために、次の目標を定める

- 深く考え、自ら学ぶ生徒
- 心あたたかで、礼儀正しい生徒
- 健康で、たくましい生徒

本校の特色（教育課程届より）

①地域に貢献できる安全教育・防災教育

・ESDとして発災時の生徒の貢献を視野に、地域の方の知識・経験によって、対応力を高める各学年の取組、毎年行うことによる実践力を付ける活動を充実させる。防災ジュニアスタッフによる防災訓練の実施、消防団を含む地域ボランティア・消防署など地域との連携を図る。

②個々の生徒に応じた指導・支援の工夫・改善

・巡回指導拠点校の機能を活用し、個別の教育的ニーズ、多様で柔軟な仕組みの学びの場を整備し、共同学習を推進する。個別最適な学びの支援の在り方を工夫し、一人一人の能力を最大限に伸長する。

目指す生徒の姿

- 【主体的に学ぶ力】自主的に考え、表現でき、学び続けることのできる生徒
- 【共感する力】人を思いやり、人権を尊重し、規範意識の高い生徒
- 【貢献する力】身体や心の安全・安心を目指し、やるべきことを正しく行い、地域に貢献できる生徒

重点

- 生徒の自主的な活動：教師は生徒の自主的な活動を支援
- 生徒の学習欲の向上：学ぶことが楽しいと思える分かる授業
- 生徒による自治：生徒会本部や学級委員会を中心に、お互いを注意できる環境の育成

目指す学校像の詳細	目指す生徒像の詳細	目指す教師像の詳細
○生徒一人一人の良さや実力が発揮される学校 ・生徒一人一人の力を発揮できる活動の場を設定し、自己有用感を高められる学校 ・学ぶことが楽しいと思える分かる授業を目指し、教師の授業力の向上と、生徒の学習欲を高める学校 ・保護者・地域に信頼され、協力を得て生徒を育成できる学校 ・ISSで培った内容を継承し、継続的に取り組みを続け、身体と心の安全・安心を目指す学校	○自主的に各活動や学習に取り組む、自治のできる生徒 ・基本的な知識や技能を基に、深く考え、考えたことを表現し、自ら課題に向かって学び続ける生徒 ・人を思いやり、自他の人権を大切にし、社会の中でともに生きる配慮ができる生徒 ・規範意識の高い生徒（自治） ・健康に対する基本的な知識と生活習慣を身に付け、生涯にわたり、自らの生命、身体と心を大切にする生徒 ・やるべきことをきちんと行う生徒 ・地域に学び、安全・安心な学校やまちづくりの一翼を担える生徒 ・各活動に積極的に取り組む生徒	○授業を大切にし、職層に応じた資質を高め、常に生徒のことを考えられる教師 ・やるべきことを正しく行う教師 ・視野を広くもち、危機管理意識が高く、課題を共有し、組織的に問題を解決できる教師 ・生徒に自己肯定感・有用感を育む活動のできる教師 ・生徒に粘り強くやりぬく姿勢を育むことのできる教師 ・常に職責を果たし、教育者として専門性を高められる教師 ・公務員であることを自覚し、全体の奉仕者としての使命を果たす教師

その他の活動

- ・生徒会中央委員会を中心とした校則の見直しを継続する
- ・行政書士会によるネットトラブルに対する教育を実施する
- ・公認会計士による経営体験授業によって、働くことの意義の理解・望ましい職業観の形成を図る

教育活動の目標と達成するための方策

1 深く考え、自ら学ぶ生徒

＜自主的に考え、表現でき、学び続けることのできる生徒の育成＞

- ・ 学ぶことが楽しいと思える分かる授業を目指し、OJT を生かすことや環境を整備することにより組織的に取り組み、生徒や保護者の信頼を得て、生徒の学習欲を高める。
- ・ ICT を活用した、視覚に訴え理解を深める学習や、まとめて表現する力の育成を目指し、OJT を生かした研修体制を構築し学習活動を充実させる。
- ・ OJT を生かした研修等によって、深く考える授業を展開し、生徒の思考力を高める教育を目指す。
- ・ 巡回指導拠点校の機能を活用して、学びの支援のあり方など、インクルーシブ教育の充実を進める。

2 心あたたかで、礼儀正しい生徒

＜人を思いやり、人権を尊重し、規範意識の高い生徒の育成＞

- ・ 意思決定の場面を意識した道徳教育の充実を図り、人を思いやり、自分も他人も大事にする、配慮のできる生徒を育成する。道徳的な諸活動に継続的に取り組む。
- ・ 小中共通の授業規律を徹底し、お互いに注意しあえる規範意識の高い生徒を育成する。
- ・ i-check の活用や各種会議を通して、いじめ防止・不登校対応・問題行動に対する未然防止の体制を整備し確立する。

3 健康で、たくましい生徒

＜身体や心の安全・安心を目指し、やるべきことを正しく行い、地域に貢献できる生徒の育成＞

- ・ 教師と生徒とのコミュニケーションの機会を大切にする。
- ・ 全校で知恵を絞って、各行事や取り組みを充実させ、生徒一人一人の力を発揮できる活躍の場を増やす。
- ・ 保健体育の授業だけでなく生徒会役員・各委員会からの発信により、健康に対する基本的な知識と生活習慣を身に付けさせ、自らの生命、身体と心を大切にする意識をもたせる。
- ・ 地域の町会・消防団を含む地域ボランティア・消防署など地域との連携を図り、地域に貢献できる安全教育・防災教育を推進し、ESD としての安全・安心な学校やまちづくりの意識を高める。発災時の対応力や実践力を身に付ける活動に取り組む。

※ 職層を意識した OJT を推進し、授業力を向上させる、やるべきことを正しく行うなど、目指す教師像の実現に取り組む。